

京都銀行協賛事業

高等研公開講演会

テーマ

恭仁京と保良京

日時

2007年6月2日(土)
14:00~16:00(開場:13:30)

講師

金田 章裕
(京都大学大学院文学研究科教授)



高等研の研究施設

会場

国際高等研究所 レクチャーホール

- 高校生以上無料
- 先着順150名(定員を超えた場合、TVモニターでご覧いただくこともありますのでご了承ください)

問合せ先

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地 (財)国際高等研究所「金田講演会」係
電話:0774-73-4001 FAX:0774-73-4005 E-mail:lec0602@iias.or.jp<日・月・祝休>

恭仁京と保良京

● 講師：^{きんだ}金田 ^{あきひろ}章裕氏 京都大学大学院文学研究科教授

● 略歴

学位：文学博士

経歴：京都大学文学部助教授(1987)

京都大学文学部教授(1994)

専門：人文地理学、歴史地理学

著書：『条里と村落の歴史地理学研究』(1985)

『オーストラリア歴史地理』(1985)

『古代日本の景観』(1993)

『微地形と中世村落』(1993)

『日本古代荘園図』(共編)(1996)

『オーストラリア景観史』(1998)

『古代荘園図と景観』(1998)



『古地図からみた古代日本』(1999)

『古代景観史の探究』(2002)

『散村・小都市群地域の動態と構造』(共編)(2004)

『平安京-京都：都市図と都市構造』(2007)

『地図出版の四百年』(共編)(2007)

■ 講演要旨

平城京の時代、何回か平城京の北に都が建設された。平城京からみて木津川の北岸ないし、東岸がその地であった。この地はもともと、北陸道、東山道などの宮道が通過する地でもあった。聖武天皇は、東国巡幸の後、山背国の相楽郡加茂町に建設した恭仁京に移った。木津川の北岸に宮域が検出され、南岸に左京と右京が別個に推定されている。

天平12年(740)に恭仁京の造営が始まって一年余を経た天平14年、今度は近江国甲賀郡に紫香楽宮の建設を始めた。3年後再び平城京に帰還した。

聖武天皇の娘、考謙天皇が、養老2年(718)に重祚した後、退位して上皇となり、天宝宝字3年(759)から保良宮・京の建設を開始した。これも短命であり、天宝宝字6年5月までのことであったが、大津市関津遺跡の幅18m

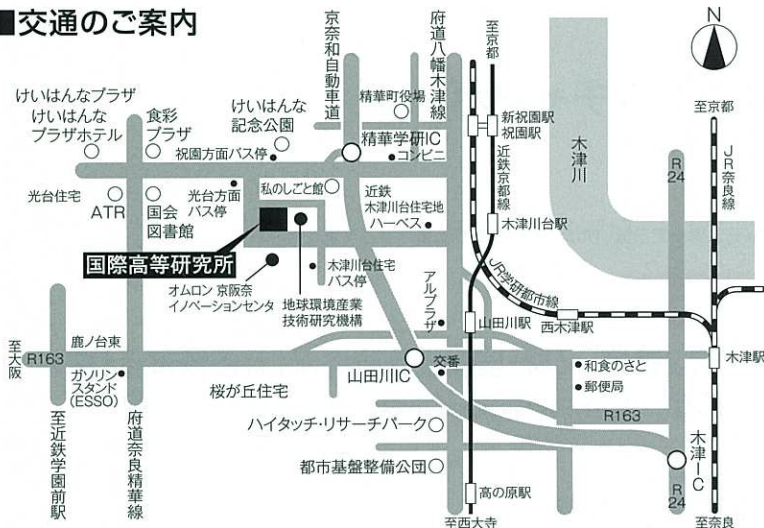
もの道路跡はこれにかかわる可能性が高い。

いずれも国際高等研究所の対岸から北にかけての一带である。



関津遺跡の道路跡

■ 交通のご案内



■ 鉄道ご利用の場合

- ◎近鉄京都線:新祝園(しんほうその)駅※急行停車
JR学研都市線:祝園(ほうその)駅下車、タクシーにて7分。
又は奈良交通バス「光台循環内回り」「学研奈良登美ヶ丘駅行」にて「けいはんな記念公園」下車、南へ徒歩5分。
- ◎近鉄京都線:山田川駅※普通のみ停車
下車、タクシーにて7分。又は奈良交通バス「木津川台住宅行」にて終点下車、西へ徒歩5分。
- ◎けいはんな線:学研奈良登美ヶ丘駅下車、
奈良交通バス「祝園駅行」にて「けいはんな記念公園」下車、南へ徒歩5分。

●奈良交通バス 時刻/料金お問い合わせ
奈良交通テレフォンセンター TEL.0742-20-3100

■ お車ご利用の場合 (駐車場有ります)

- ◎京都方面より
京奈和自動車道「精華学研IC」を出て右折、
精華大通りを西へ1km、T字路を左折200m
- ◎奈良方面より
R163より府道八幡・木津線北上、近鉄木津川台住宅地前交差点
左折(左折車線あり)約2km直進